

令和3年度 児童発達支援・放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和4年3月

事業所名: みさかえの園児童発達支援センター

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制設備	①	利用者定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○				
	②	職員の配置数は適切であるか	○				
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか		○		広い空間を利用してコロナ対策として、セラピーマットを使用し、個別の空間を作っています。玄関と生活空間が離れているため玄関チャイムを設置しました。	
業務改善	④	業務改善を進めるための PDC A サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			定例会議を月に1回利用者不在で実施し、目標設定、対応の検討を行っています。	
	⑤	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者等に対して事業所の評価を実施しています。その結果や送迎時等にお聞きする意向等を業務改善につなげるよう努めています	
	⑥	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			事業所ホームページで公開しています。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			本体施設の研修参加や事業所内勉強会を実施しています 外部研修はオンラインで参加しています。	
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			利用開始前にアセスメントを行い、ニーズや課題を把握した上で、個別支援計画を作成しています。	
適切な支援の提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○		
	⑪	児童発達支援計画には、児童発達支援が「ドライン」「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			発達支援を中心に項目の設定、具体的な支援内容を設定しています。	
	⑫	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			児童発達支援計画の内容に基づいて、プログラムや課題設定をしています。	

	⑬	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			個別課題の立案は個別支援計画を元に担当スタッフが先行し、職員間で共有しています。	
適切な支援の提供	⑭	プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			活動内容は日替わりで実施しています。前の週と同じ内容にならないようにも注意しています。	
	⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と集団生活を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成しているか	○			個々のお子様の必要性に応じて個別の活動を計画したり集団活動には、毎回参加できるように支援しています。	
	⑯	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			始業時に支援の内容や役割分担について必ず打ち合わせを行っています。	
	⑰	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○			何か課題等が見つかった時はその日に職員間で話をしています。
	⑱	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			利用ごとに当日の様子を記録し、支援の検証・改善につなげています。保護者には、連絡ノートに記入し渡しています。	
	⑲	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			日々の記録を元にモニタリングを行い、まとめを作成し、その後個別支援計画を見直し、修正しています。	
	⑳	平日、休日、長期休暇に応じて課題を決め細やかに設定して支援しているか	○				
	㉑	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				
	㉒	放課後等デイサービスガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行なっているか	○				
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			リハ入院時の情報と事業所での日中の様子等、情報交換を行っています。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○			新型コロナウイルス感染予防の為にリモートによる担当者会議に参加しています。	
	㉓	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○			新規で利用を開始される場合は必ず診療情報提供書を提出いただいています。状況により、訪問看護や訪問リハ等の関係機関との連絡体制を整えています。	
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○			

この連携	⑳	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか						
	㉑	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		通常はこども支援部会等での連携等とれていましたが、新型コロナウイルス感染予防の為参加できていません。関係機関からの伝達のみ受けています。		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○		新型コロナウイルス感染予防の為、交流できていませんがいずれ実施していきます。	
	㉑	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			わくわく広場と連携して会議等参加しています。		
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡帳や送迎時の伝達、面談や電話連絡を通して、保護者様と状況や課題の共通理解に努めています。		
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか			○			
	㉔	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○					
	㉕	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか				対象者なし		
	㉖	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			リモートでの担当者会議に参加している		
	㉗	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会はあるか			○		新型コロナウイルス感染予防の為、交流できていません。	
	保護者への説明責任等	㉘	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に運営規定、利用者負担について説明をしています。	
		㉙	児童発達支援がイトライの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			面談時に目標と支援内容を説明し、保護者様の同意を得ています。	
㉚		定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○		特別には相談の機会を設けていないが、その都度、保護者様の相談には対応しています。		
㉛		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○		新型コロナウイルス感染予防の為、行事等行えていません。	

	④②	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか				苦情なし	
保護者への説明責任等	④③	子どもや保護者から相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			送迎時などに相談があった場合は即答せず、事業所に持ち帰り職員間で共有し、適切に対応しています。	
	④④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			年に4回スマイリー新聞を発行しています。主に活動の様子を中心に看護師からの連絡や新しいお友達の紹介など行っています。	
	④⑤	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	○			書類等個人情報の取り扱いには十分注意し、鍵のかかる部屋に保管しています。状況により保護者の同意を得て使用しています。	
	④⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			送迎時の対話や連絡帳での情報交換等行えています。	
	④⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○		新型コロナウイルス感染予防の為行えていません。
	非常時等の対応	④⑧	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか			○	呼吸器をつけた利用者の送迎時の事故対応マニュアルを保護者、職員へ周知することができます。
④⑨		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			職員・利用者参加の避難訓練を行っています。	
④⑩		事前に、予防接種やてんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			利用前のアセスメントでお子様の既往歴の確認を行っています。	現在確認中の方もいます。
④⑪		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			保護者様からの情報提供により、アレルギー対応の食事の提供を支援しています。	
④⑫		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット報告書をしばらく掲示するようにし、職員間で情報を共有しています。	
④⑬		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			本体施設の研修に参加しています。	
④⑭		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか			○	医師の指示の下、安全のため車椅子乗車時のベルト使用やベッド使用時、転落防止の為に柵の使用を決定し、子どもや保護者様に説明し了解を得ています。	身体拘束については今まで別用紙としていましたので、児童発達支援計画を新しく変更する流れで、安全管理と表記して左記の内容を記載するようにします。